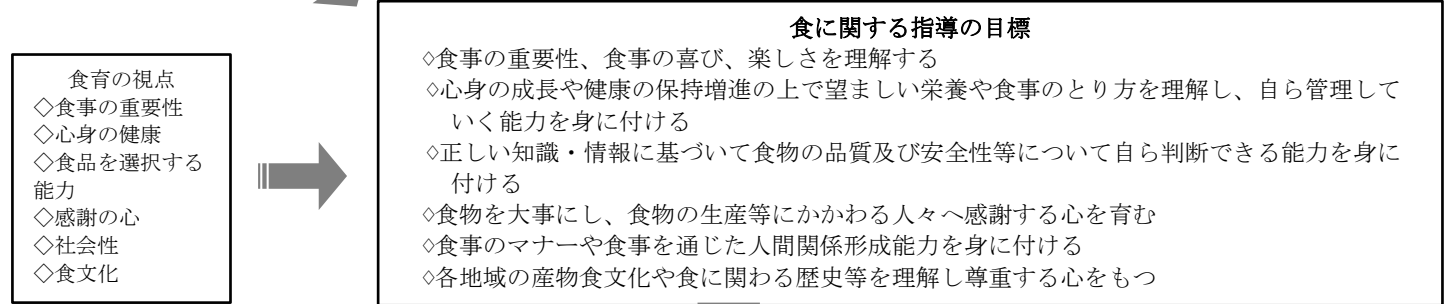
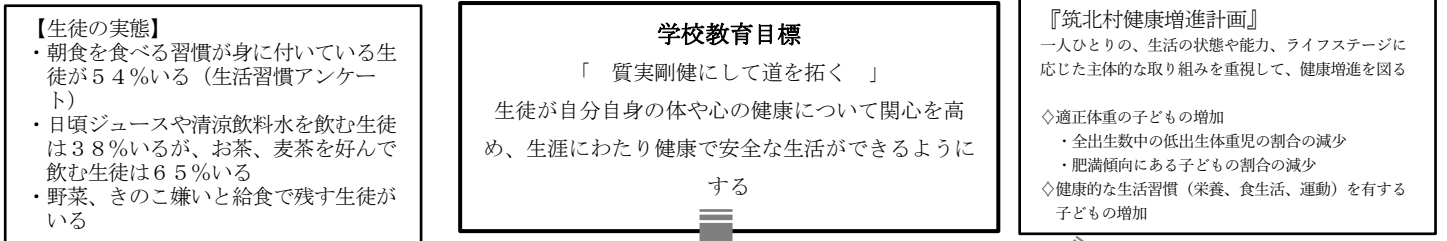


# 令和6年度 聖南中学校 食に関する指導の全体計画 ①



	各学年の食に関する指導の目標				
幼稚園 保育園	小学校	1 学年	2 学年	3 学年	将来
<p>発達段階に応じて「なぜ」を積み重ね、様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得させるとともに、健全な心身を養い、ゆたかな人間性の育成を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に伝わる郷土料理や地域の食材を知り、郷土を愛する心を育てる</li> <li>・朝食の大切さを再確認し、実践できる意欲をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期の体について理解し、カルシウム摂取など食事の大切さを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防のための食生活について学び、自ら実践する力を身に付ける</li> </ul>	<p>生涯にわたって健康な心身の保持増進を見据えた自己管理をおこなう。</p>

**食に関する指導**

- ・教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導（社会、理科、技術・家庭、保健体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等）
- ・給食の時間における食に関する指導：食に関する指導・・・献立を通して学習、教科等で学習したことを確認：給食指導・・・準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
- ・個別的な相談指導：肥満・やせ傾向、食物アレルギー・疾患、スポーツ等

**地場産物の活用**

物資選定委員会：年1回、構成委員（運営委員会を兼ねる）産地、価格等から物資品質の確認、地場産物の確認

地場産物納入業者との連絡会：年1回 活動内容（年間生産調整及び流通の確認、農場訪問（体験）計画）

地場産物等の周知：校内放送や食育だより、掲示物を活用した給食時の指導の充実、教科等の学習内容や体験活動と関連を図る

**家庭・地域との連携**

積極的な情報発信、関係者評価の実施、地域ネットワーク（人材バンク）等の活用

学校だより、食育だより、保健だより、学校給食試食会、家庭教育学級、学校保健委員会、講演会、料理教室、自治体広報誌、ホームページ

公民館活動、食生活推進委員・生産者団体・地域食育推進委員会、学校運営協議会、地域学校協働本部等

**食育推進の評価**

活動指標：各学年での教科等（技術・家庭、保健体育）における食に関する指導の実施 各学年1回以上、養護教諭、担任等との連携を図り、個別的な相談指導の実施 各学期1回、郷土食の調理実習 年1回、地場産物についての指導（月12回以上）

成果指標：朝ごはんを毎日食べる生徒100%に近づける、郷土料理を知っている生徒90%、バランスの良い食事を意識してとる生徒を80%にする